

講義名	介護概論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	上田 照子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

少子高齢化の進展とともに社会的な介護の重要性が増し、介護職のみでなく、健康関連分野等においても介護に対する十分な理解が求められるようになってきている。本授業では、介護の原則や目標について理解し、介護保険制度の概要、援助サービスを提供する場合に必要な介護の知識と技術の基礎、介護のプロセスについて学ぶ。また、他の専門職種との連携のあり方とその重要性、介護の倫理性について知る。さらに、現在生じている種々の介護問題について現状や課題を把握し、社会的背景を考える。

到達目標

- ・介護の基本的な知識として、介護の理念や倫理、生活支援や身体介助の基本、関係職種の連携 等を理解しており、説明することができる。
- ・介護保険制度の概要について理解している。
- ・介護予防の基本的な知識を持っている。
- ・介護現場における現状や課題を把握しており、説明することができる。

提出課題

ミニレポートや課題レポート等の提出を求めます。
RYUKAPortalの「レポート」に詳細を掲示しますので、毎回確認をしてください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

毎回、RYUKAPortalの「講義連絡」にて全体講評や解説を行います。

評価の基準

ミニレポートやミニテスト、課題レポート等の提出状況とそれらの記述内容により評価します。

履修にあたっての注意・助言他

本授業は、課題学修型の遠隔授業によって行います。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

各回の授業ごとに資料をポータルの「講義連絡」より配布します。随時、参考文献を紹介しします。

授業計画

- 1 授業の進め方と本科目の内容紹介、介護とは
- 2 介護に関連する保健・福祉・医療施策の動向
- 3 介護の対象者の理解
- 4 介護現場における関係職種と連携の必要性
- 5 介護現場における介護の理念と倫理
- 6 介護保険制度の概要
- 7 介護保険制度の概要
- 8 介護予防、介護過程
- 9 日常生活行動の援助
- 10 日常生活行動の援助
- 11 認知症の理解
- 12 認知症高齢者のケア
- 13 高齢者の権利擁護、高齢者虐待
- 14 福祉用具の概念と活用、住環境の整備
- 15 介護における安全管理、まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業の予習、復習として、計4時間程度の自己学習を行ってください。
予習は各回の授業の中で指示します。復習は、各回の授業内容を復習し、要点を整理してまとめてください。また、疑問点などについても書き出しておいてください。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

課題学修型の授業を行います。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考

授業計画は、授業の進行の状況によって変更することがあります。